

兵庫県県民生活審議会―第1回県民生活部会（議事要旨）

- 1 日 時 平成28年7月12日（火）10：00～
- 2 場 所 ひょうご女性交流館501号
- 3 参 加 者 委員：小西部会長、金曾委員、北野委員、野崎委員、森委員、
森川委員、山崎委員、山下委員
県側：山口政策創生部長、東元県民生活局長、
久戸瀬県民生活課長、木村県民生活課副課長、小島班長、
ほか関係職員
- 4 議 事 (1) 平成27年度 参画と協働関連施策の年次報告について
(2) 参画と協働推進方策のフォローアップについて
(3) 県民生活部会の今後の進め方について

5 主な内容

【平成27年度 参画と協働関連施策の年次報告について】

○簡潔や、読みやすさを重視すべき

* 去年までは、トピックスを中心に、地域で活動している人や活動に関わりたい人たちが読みやすいよう、簡潔に構成してきたが、方針を変えるのであれば議論が必要ではないか。

→今年度は概要版で平成27年度の動きを表現しつつ、全施策を紹介する網羅性を重視して作成した。

* 当日資料上の「本編」は「資料集」とし、「概要」を本編にしてはどうか。

* A3版のチラシのような簡潔なものでもいいのではないか。

* 体系に従ってすべての事業を書くと焦点がぼやけてしまう。

○評価

* 事業を実施した結果どうだったかなど、アウトカムについても言及し、評価につながる必要があるのではないか。

* 去年と比べてどうだったか、誰を対象とした事業なのかについて書くべきではないか。

* 可能な範囲でPDCAについて意識して書くべき。

○事業の記載順序と体系

* 「参画と協働」の施策体系に合わせる必要がある。「平成27年度の施策の実施概要」を書いた部分（当日資料「概要」と、全事業を書いた部分（当日資料「本編」）の組み立てが異なると読みにくい。

→概要部分は地域づくり活動に関する課題や社会状況とからめて記述したので、体系の順番と完全に一致しにくかった部分があるが、わかりやすさを重視して修正したい。

○地域創生

* 地域創生についても記述すべき。

○円卓会議

* NPOと地域の円卓会議など、総合的な場について記載してもいいのではないか。

○「県行政への参画と協働」に係る背景

* 県行政への参画と協働に関する社会背景の変化についても書くべき。

本日の意見に基づき修正した案を各委員に意見照会した上で、最終的な調整は部会長に一任となった。

【参画と協働のフォローアップ】

○専門家の育成

* 専門家を育てる必要がある。地域づくりのプロと行政のプロが対等に対話できる仕組みを作らないといけないと思う。

○情報伝達のシステム

* 参画と協働の推進方策が活動している人全員にはなかなか届いていない。もっと知りたくなる情報や活動のきっかけとなる情報は多いので、こうした情報を集約して伝えられるシステムがあればいいと感じた。

○たまり場・活動拠点

* 平成の大合併後、使われていない公民館が多いので、そこを地域のお年寄りのたまり場や活動拠点にできないか。

○行政の役割

* 行政の役割は変わってきていることを認識して、後追いだけでなく、これから起こりうることを見越して先回りして誘導していくことが必要ではないか。

○検討テーマ

* 全国的に将来課題になりそうなテーマを見つけて参画と協働の手法でアタックすることもひとつではないかと考えている。その課題について情報を集めて、成功している事例についてはそれを押しつけるような形ではなく、役に立つ部分を見つけられるようにするのがいい。